

様式第2号

視察研修先	茨城県阿見町	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	(1) 議会モニター制度について (2) あみ議会報告会&交流会について		
<p>感想・所見など</p> <p>概要</p> <p>人口 50,258人 面積 71.40km²</p> <p>霞ヶ浦とその湖面の彼方に望む筑波山からの雄大な自然景観。東京医科大学センターを始め、茨城大学や茨城医療大学と医療と教育に関する優れた機関の集積となっている。産業面では、3つの工業団地があり、特産品では、「阿見グリーンメロン」、「れんこん」、「すいか」が有名である。平成22年に開館した、予科練平和記念館に多くの来館者が訪れている。</p> <p>(1) 議会モニター制度について</p> <p>目的：議会改革・活性化の推進及び政策提案機能の強化。</p> <p>令和4年度より開催し、任期は1年で定員20名まで、謝礼として5,000円分の図書カード。令和4年度は7名、令和5年度12名、モニター会議を対面式やワールドカフェ方式などを開催し意見招集に取り組んでいる。</p> <p>考察</p> <p>モニター制度の募集や公募になかなか参加が少ないことから、議員の声かけも含まれているとのことでありました。本市においてもモニターのなり手不足が懸念されております。モニター会議を実施していることは大変意義のあることでした。</p> <p>さらに、意見が出やすい環境にワールドカフェ方式の手法を取入れたこと。</p> <p>(2) あみ議会報告会&交流会について</p> <p>議会報告会は原則(5月・11月)年2回の開催としている。</p> <p>当初、区長会や各種団体に案内していたが、参集者が少なく一般の参加者が少なかった。周知方法は、議会だより・HP・コンビニ・SNS・メールやLINE・ポスター掲示・チラシ配布などを活用した。</p> <p>開かれた議会を目指し、議会報告会を開催している。</p> <p>キャッチフレーズは、「知ろう、語ろう、進めよう!!みんなであみトーク♪」</p> <p>第1部は、議会活動報告と自己紹介は議場にて、第2部は、常任委員会ごとのトーク、第3部は、6グループに分かれてのフリートーク。</p> <p>考察</p> <p>1年生議員の斬新的な考えのもと「議会報告会&交流会」を開催したこと。</p> <p>参加者が、親しみやすく、参加の意欲がわく形に改めたこと素晴らしいこととあります。開催にあたっては、日曜日の午後1時から普段は入ることができない議場で開催し開催していることに驚きました。参加者には議員席に座っていただくことで主権者意識の醸成に一役買っていると思われます。</p> <p>第1部・第2部・第3部といった変化のある取り組みも参加者への好感度に繋がっていると感じました。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	千葉県鎌ヶ谷市	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	(1) 通年議会について		
<p>感想・所見など</p> <p>概 要</p> <p>人口 109,996人 面積 21.08km² 千葉県の北西部に位置し、都心まで25kmで30分の距離にあり、交通が便利な地域となっている。 市域のおよそ半分は住宅用地、商業用地等の宅地で占められ、農地は21%、山林5%で梨が盛んで県内屈指の生産地となっている。 通年議会とは、会期を1年とし、その間は、議会の判断で必要に応じて会議を開けるようにする制度である。</p> <p>目的：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 議会が長期間にわたり活動能力を有することで、議会機能の充実強化を図る。 2 大規模災害時等の緊急時において迅速に対応できる体制を整えること。 3 二代表制の観点から議会の判断で本会議を開催する権利を確保すること。 <p>会議の招集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例会の招集回数を毎年1回とする。 <p>会期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会期は毎年5月に市長が定例会を招集し、議会が会期を決定する。 その後の会議はすべて議長が開く。 ・ 会期は、毎年5月から翌年4月までとする。 <p>会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会期中は、年4回(6月、9月、12月及び3月)開かれる定例会の会議で、議案等の審議や一般質問を行う。その他必要に応じて臨時に会議を開く。 <p>平成29年より議会運営委員会において検討してきており、令和元年5月から導入。</p> <p>考 察</p> <p>鎌ヶ谷市議会は、千葉県において、初の通年議会でありました。また、山形県内においては、酒田市が令和6年4月より通年議会を実施しております。 通年議会には、様々な観点から検討をしメリット・デメリットを洗い出さなくてはなりません。 議決の迅速化・専決処分の減少や臨時会の必要性など、新たな取り組みとして執行部との調整などが必要であります。 通年議会の導入の目的について、最も大きいものは年間を通して議会が活動できる環境を整備し、大規模災害時や緊急時において議長権限により開催することができるようにすることができることとなります。 本市議会において、議会運営委員会及び議会改革検討委員会で検討し、今後さらに先進地行政視察を実施し、調査・検討が必要である。</p>			